原町田大通り滞留空間等整備事業説明会資料

２０２４年３月３日、３月６日
町田市経済観光部産業政策課

1　町田駅周辺地区都市再生整備計画

町田市中心市街地の賑わいや交流の創出に向けて、原町田大通り及び原町田中央通りを恒常的に活用するために、2021年1月に「町田駅周辺地区都市再生整備計画」を策定しました。

この計画では、町田市中心市街地が選ばれ続ける活気あるまちであるために「**町田市中心市街地まちづくり計画**」に基づく、プロジェクト2「個性と魅力あふれる商店街づくりプロジェクト」及びプロジェクト6「原町田大通り憩いと賑わい空間を創造するプロジェクト」を推進することを目的としています。

計画の概要として、「賑わいや交流にあふれるまちの実現」を大目標として設定し、以下の３つの目標に合わせて７つの事業を掲げています。

目標１：多様なアクティビティが生まれる空間の創出（**①原町田大通り滞留空間整備**、**②滞留空間の創出**、③交流拠点の社会実験）
目標２：安心してゆっくり過ごせる空間の創出（④原町田大通り荷捌きスペースの整備、⑤原町田中央通りガイドラインの整備）
目標３：また訪れたくなる魅力ある空間の創出（⑥広場公園（まちだの泉）の移設、⑦エリアマネジメント広告の掲出）

町田市中心市街地まちづくり計画
2016年度-2030年度

2　滞留空間整備の方向性

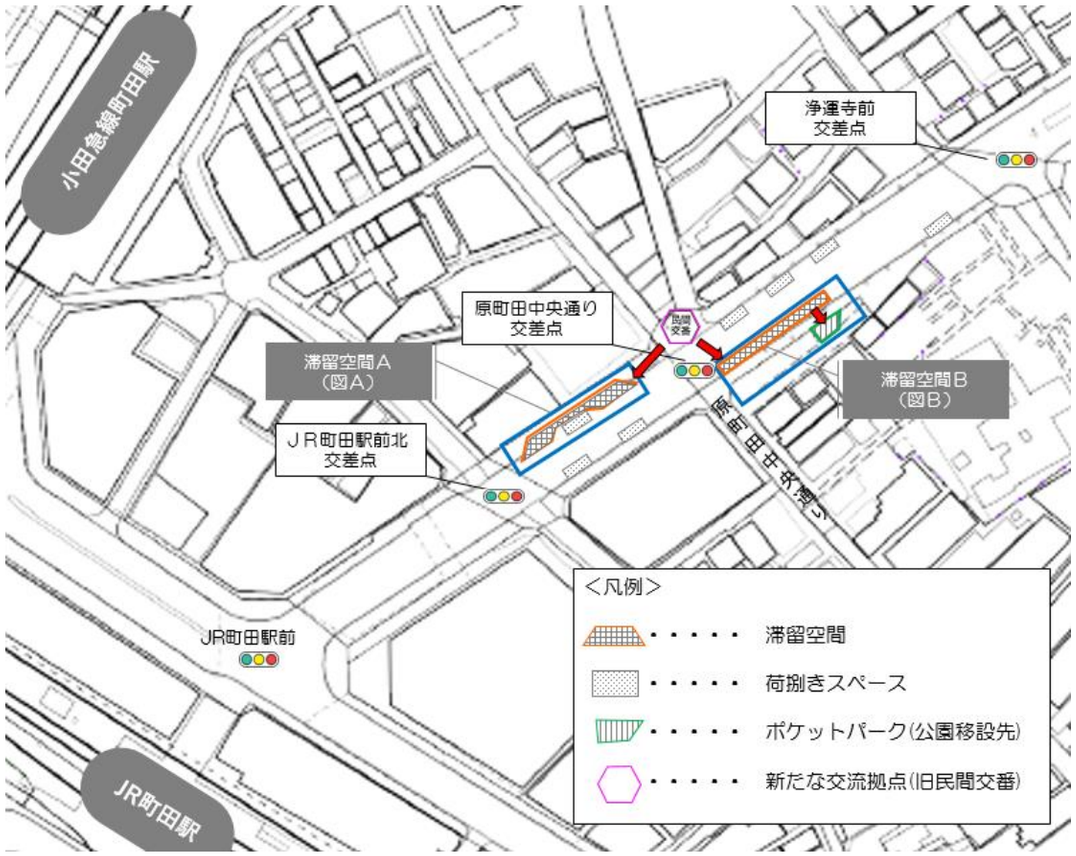
2021年度及び2022年度に実施した原町田大通り社会実験の実施を踏まえ、原町田大通り上に整備する滞留空間を魅力ある空間にするために以下の方向性で整備します。

①滞留空間に植栽やデザイン性の高いベンチ等を設置する。
②滞留空間の幅広い活用のために、設置するベンチ等は配置が変更できるものにする。
③道路上の設置物は、歩行者の通行を妨げないように配慮する。
④近隣店舗の視認性を確保するため、高さのあるものは設置しない。
⑤整備後の管理・運営は、町田市と都市再生推進法人が、まちなかの事業者の方等と協力して行う。

“夢”かなうまちへ プロジェクトMAP

3　滞留空間の配置（詳細は4ページ参照）

滞留空間は、新たな交流拠点として活用を予定している旧民間交番との一体的な活用を促進するよう配置します。

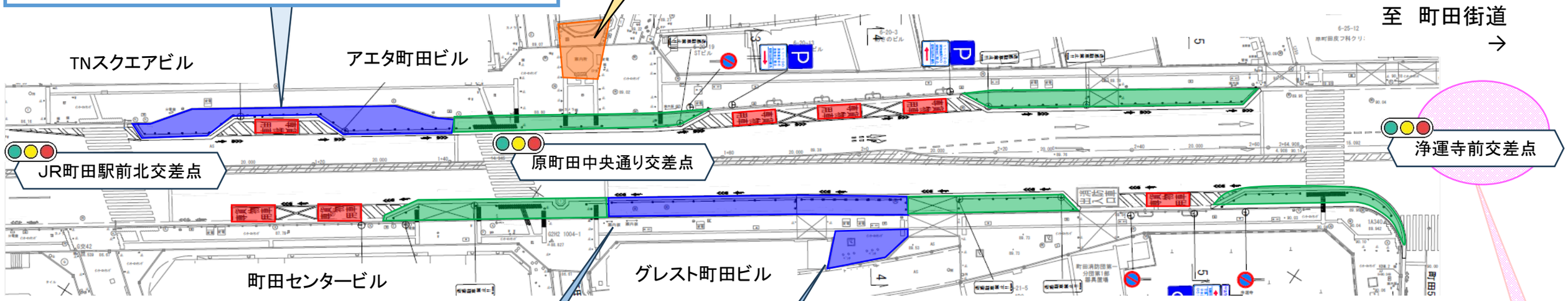
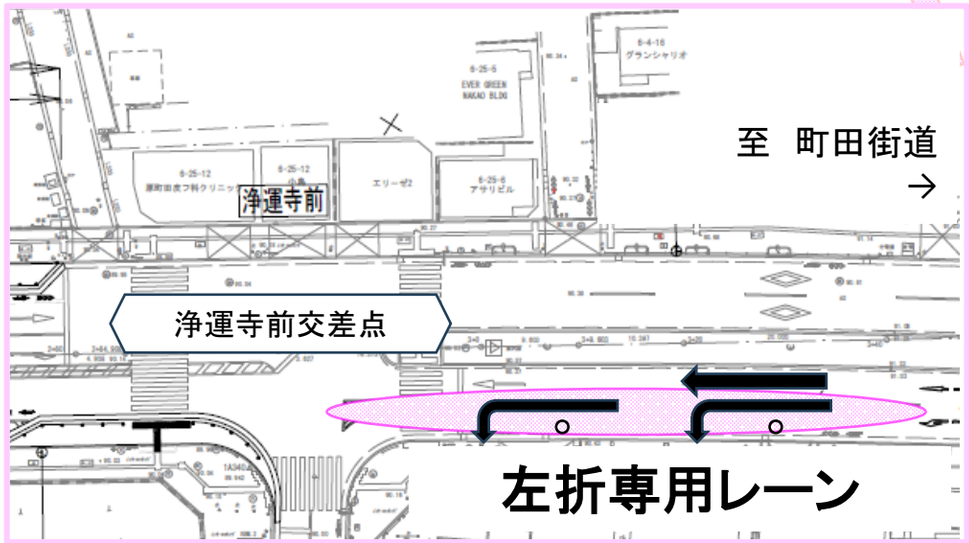


4　整備までのスケジュール

※契約状況等により、スケジュールは変更となる可能性があります。

実施主体	整備項目	内容	2023年度 1	2	3	2024年度 4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
市	ポケットパーク・電線共同溝工事	電線共同溝設置工事	■		■	■	■				■	■	■	■	■	■	
		ポケットパーク整備工事		■	■												
	原町田大通り滞留空間等整備工事	事業説明会			■												
		工事準備				■	■							滞留空間オープン			
		滞留空間等整備工事						■	■	■	■	■	■	■	■	★	
	旧民間交番、まちだの泉解体・撤去工事	工事準備				■	■										
		解体・撤去工事						■									
都市再生推進法人	新たな交流拠点整備工事	各種申請手続き				■	■	■				新たな交流拠点オープン					
		新たな交流拠点整備工事							■	■	■	■	■	■			
		オープン準備													■	★	

原町田大通り滞留空間等整備　概略図

凡例

- 滞留空間（歩道拡幅+α、ポケットパーク）
- 歩道拡幅箇所
- 荷捌き
- 交流拠点（旧民間交番、まちだの泉）